

事業番号	06 04 05	事業改善シート(26年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域資源製品開発支援センター事業			担当課	部局	産業労働部	
					課・室	ものづくり振興課	
総合5か年計画	プロジェクト	9-2-3 信州ブランド確立		E-mail	mono@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出		実施期間	H20～ ～		

### 1 事業の概要

目指す姿	県内の地域資源を活用した製品開発を企画から商品化まで通して支援し、優位性のある新商品開発を促進するとともにブランド化を図る。
------	--

現状(予算編成時)	平成20年から当センター事業を開始し、年間数百件に及ぶ企業等からの地域資源活用に関する相談に応じながら商品化に向けた継続支援を行っている。
-----------	---

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 検討中	地域資源を「信州ブランド」として高付加価値で発信力のある製品にするためには、中小企業・生産者単独の取組みでは限界があり、県の支援が必要

成果目標・事業内容	① 成果目標(H26)					
	商品化に至る製品の件数:30件					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H26事業実績	H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	地域資源活用に取り組む企業に対する継続的支援 ・民間での開発実績を有する総合プロデューサー配置(1名) ・具体的な構想、製品企画の策定支援 ・製品の試作、評価分析に関する支援 ・開発製品のブランド化へのアドバイス ・開発製品の情報発信(プレスリリース等)のサポート	5,737	5,578	0
デザイン支援による感性価値の向上	直接	デザインにより顧客の感性に働きかける製品の開発支援 ・デザイン専門支援員配置(1名) ・デザインの役割、活用に関する啓蒙 ・新製品へのデザイン導入に際しての助言、支援 ・開発製品の紹介パネル等PR資料の作成支援	3,748	3,590	0	
新製品開発のためのワークショップ開催及びプロジェクトの推進	直接	・地域資源の効果的な活用方法を研究するワークショップを2テーマ実施 ・外部専門家派遣等によるプロジェクト支援(10案件60日実施)	4,070	4,095	0	
合計			13,555	13,263	0	

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				13,549
	当初予算	13,350	13,243	13,555	
	補正予算			13,549	
	合計(A)	13,350	13,243	27,104	13,549
	一般財源	11,254	11,155	11,455	
	県債				
	国庫支出金			13,549	13,549
	その他	2,096	2,088	2,100	0
	決算額(B)	12,394	11,637	13,263	
概算人員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00	
概算人員費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516	
概算事業費(B(A)+C)	28,910	28,153	29,779	30,065	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26 目標	H26 成果	H26 達成状況	H27 目標
商品化に至った件数	42	30	42	達成	30

目標に対する成果の状況	商品化に至った件数は目標件数を上回った。また、プレス発表や記者会見でのPRや県庁ロビー展等によりメディアでも取り上げられている。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 工業技術総合センター各技術部門との連携により、デザイン性に加え品質や機能性も高め、「売れる良いものづくり」を推進するとともに、開発製品の情報発信支援にも取り組んでいく。
--------------------	---